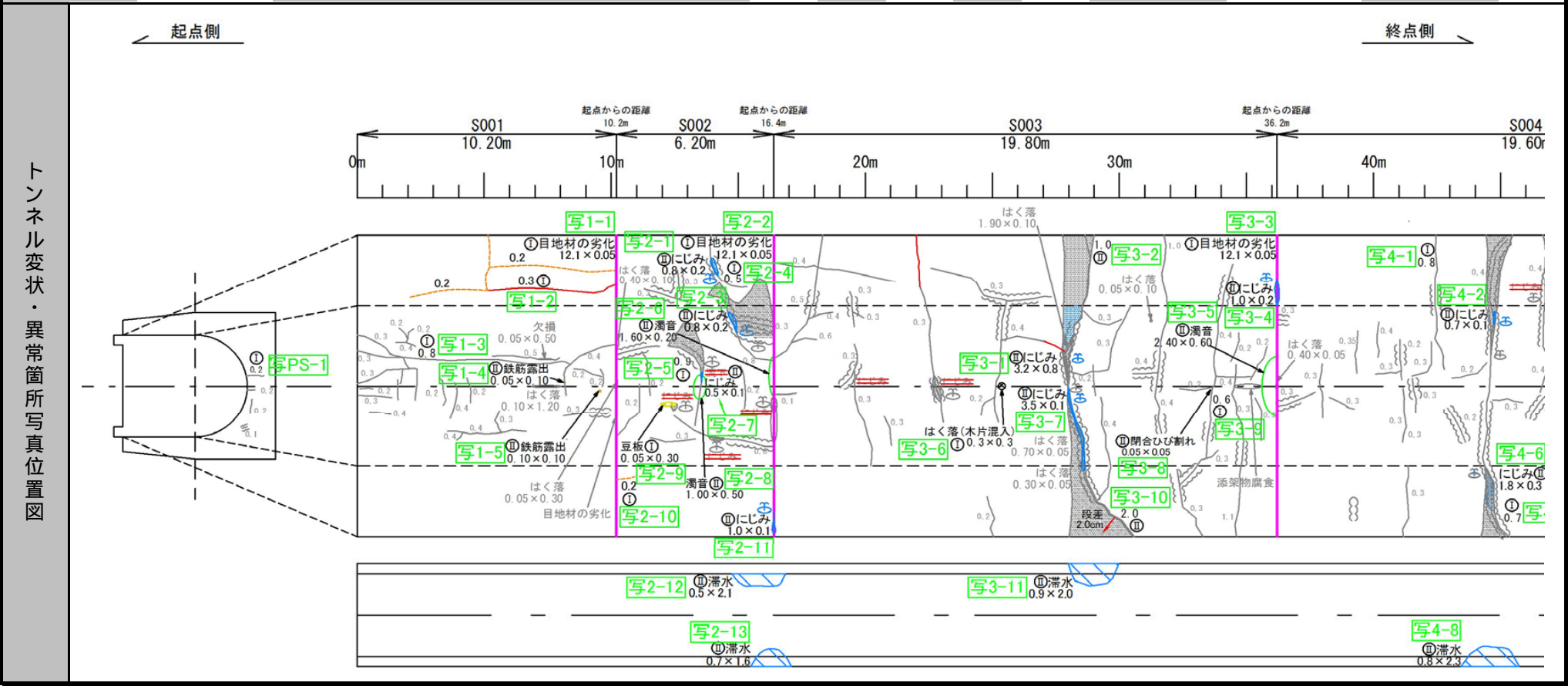


■点検結果調書 トンネル変状・異常箇所写真位置図

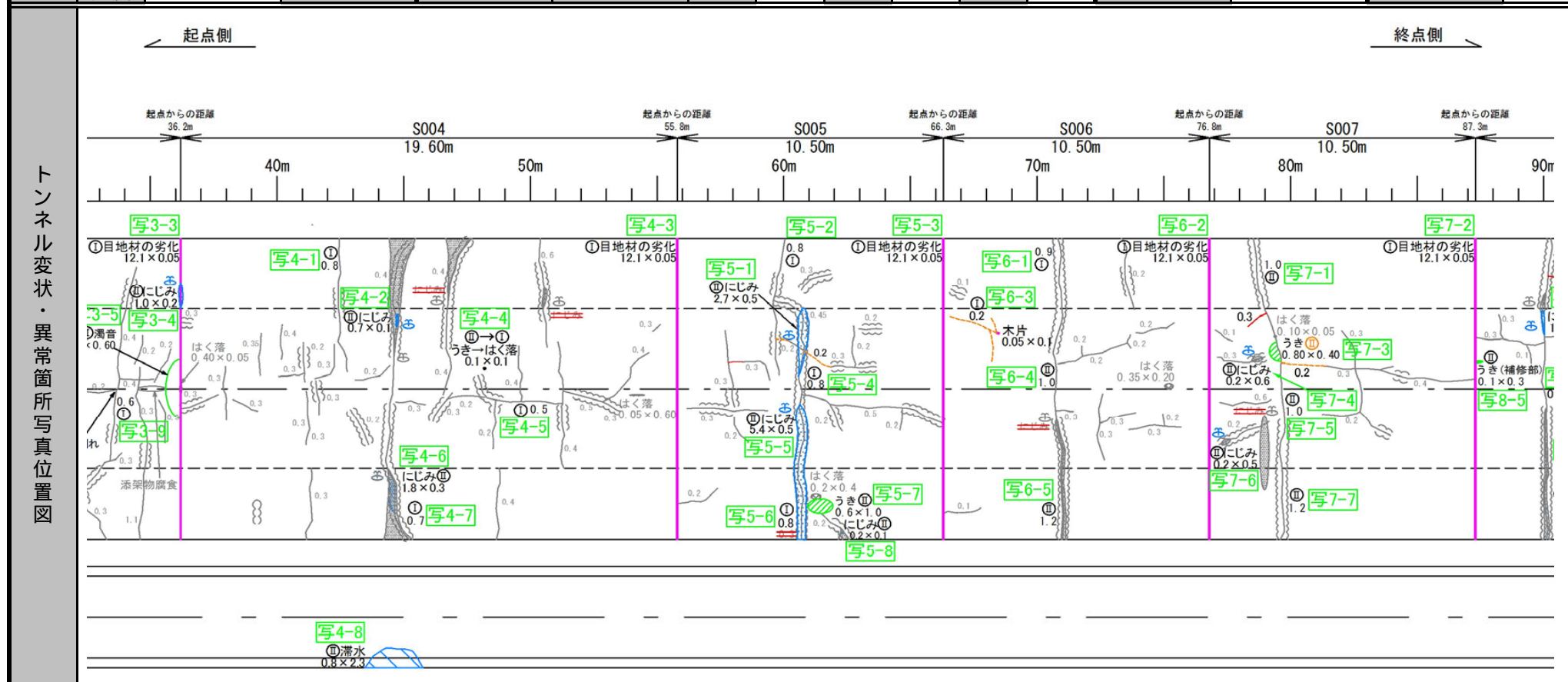
フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線			管理者名		七戸町			緊急輸送道路	なし		
													代替路の有無	なし		
所在地		自	青森県上北郡七戸町字銀南木	点検業者・点検者名		(株)復建技術コンサルタント・山下 智士			点検年月日		2018年9月18日		トンネル延長	L= 196.3 m		
		至	青森県上北郡七戸町字銀南木	調査業者・調査技術者名		-			調査年月日		-		トンネルの分類	陸上トンネル矢板工法		
起点	緯度	40° 42 ' 56.5 "		変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体内	材質劣化		29 箇所		0 箇所		0 箇所	トンネル毎 の健全性		附属物の 取付状態	○
	経度	141° 03 ' 30.9 "				漏水		32 箇所		0 箇所		0 箇所				0 箇所
終点	緯度	40° 42 ' 56.7 "				外力		0 スパン		0 スパン		0 スパン				0 箇所
	経度	141° 03 ' 23.1 "														



- 1 トンネル本体内の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。
- 2 本体内の変状に対しては、判定区分 ~ （対策実施後の を含む）について記載すること。
- 3 附属物の異常に対しては、判定区分×（対策実施後の○を含む）について記載すること。

■点検結果調書 トンネル変状・異常箇所写真位置図

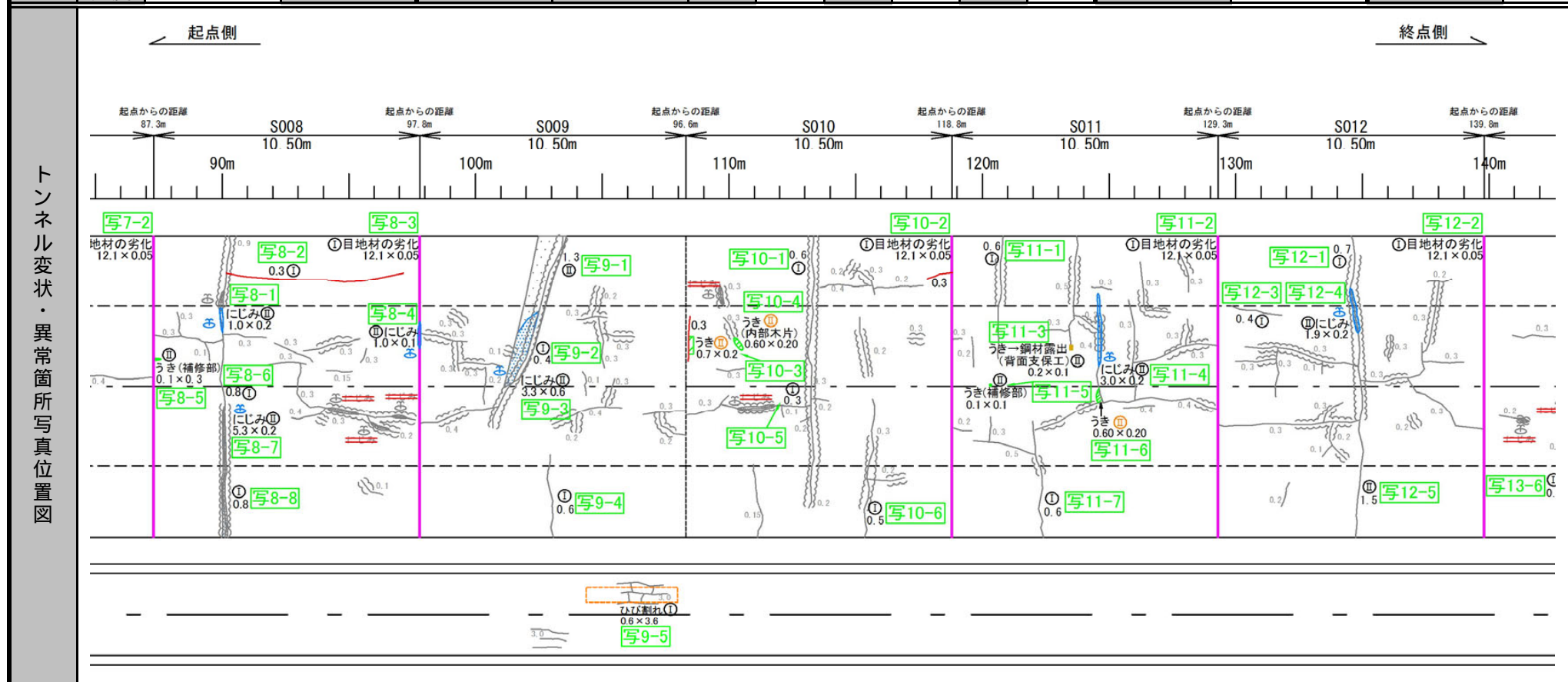
フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線			管理者名		七戸町		緊急輸送道路	なし			
												代替路の有無	なし			
所在地		自	青森県上北郡七戸町字銀南木	点検業者・点検者名		(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日		2018年9月18日		トンネル延長	L= 196.3 m			
		至	青森県上北郡七戸町字銀南木	調査業者・調査技術者名		-		調査年月日		-		トンネルの分類	陸上トンネル矢板工法			
起点	緯度	40°42'56.5"		変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体工	材質劣化		29箇所		0箇所		0箇所	トンネル毎 の健全性		附属物の 取付状態	○ 0箇所
	経度	141°03'30.9"				漏水		32箇所	<td>0箇所</td> <td></td> <td>0箇所</td>	0箇所		0箇所				
終点	緯度	40°42'56.7"				外力		0スパン	<td>0スパン</td> <td></td> <td>0スパン</td>	0スパン		0スパン				
	経度	141°03'23.1"														



- 1 トンネル本体工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。
- 2 本体工の変状に対しては、判定区分 ~ (対策実施後の を含む) について記載すること。
- 3 附属物の異常に対しては、判定区分×(対策実施後の を含む) について記載すること。

■点検結果調書 トンネル変状・異常箇所写真位置図

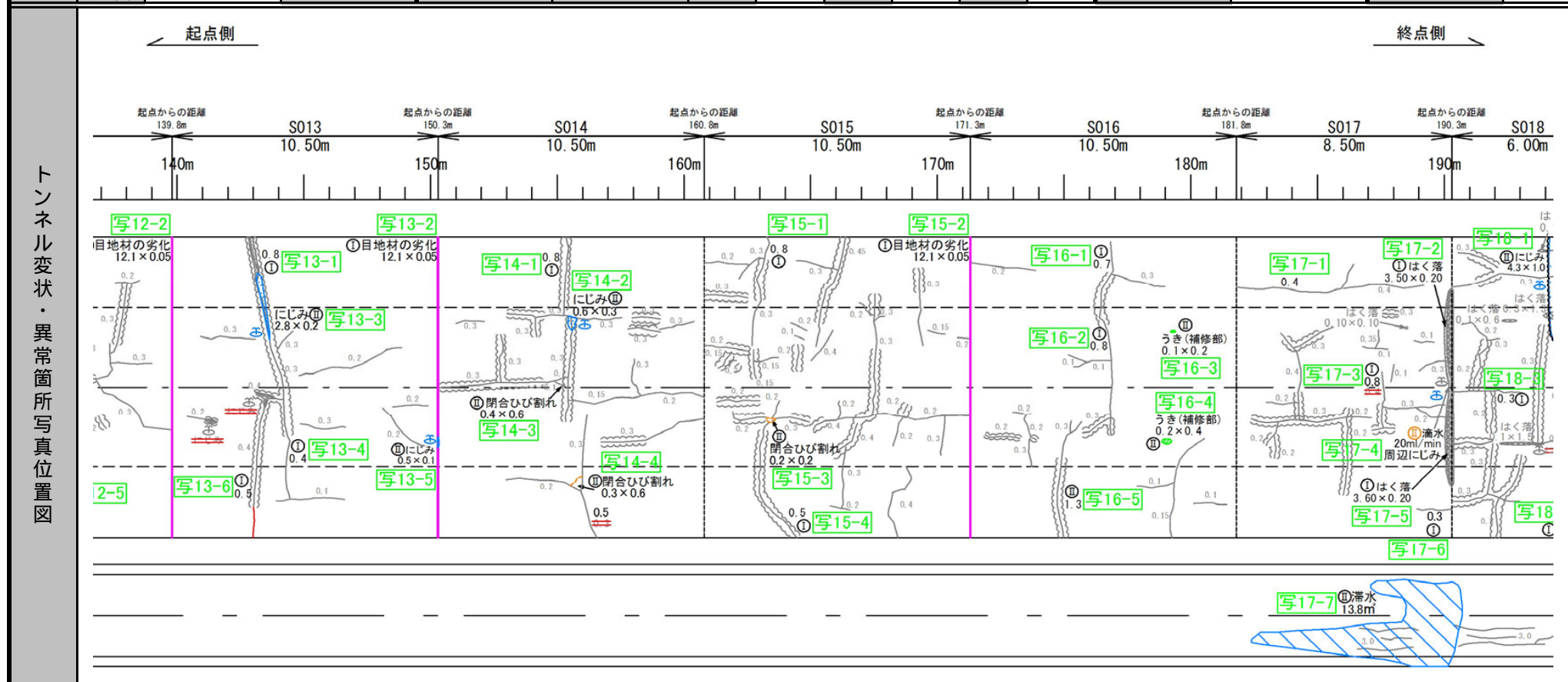
フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線			管理者名		七戸町		緊急輸送道路	なし			
												代替路の有無	なし			
所在地		自	青森県上北郡七戸町字銀南木	点検業者・点検者名		(株)復建技術コンサルタント・山下 智士			点検年月日		2018年9月18日		トンネル延長	L= 196.3 m		
		至	青森県上北郡七戸町字銀南木	調査業者・調査技術者名		-			調査年月日		-		トンネルの分類	陸上トンネル矢板工法		
起点	緯度	40°42'56.5"		変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体工	材質劣化		29 箇所		0 箇所		0 箇所	トンネル毎 の健全性		附属物の 取付状態	○ 0 箇所
	経度	141°03'30.9"						32 箇所		0 箇所		0 箇所				
終点	緯度	40°42'56.7"				漏水		32 箇所		0 箇所		0 箇所				
	経度	141°03'23.1"				外力		0 スパン		0 スパン		0 スパン				



- 1 トンネル本体工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。
- 2 本体工の変状に対しては、判定区分 ~ (対策実施後の ○を含む) について記載すること。
- 3 附属物の異常に対しては、判定区分 × (対策実施後の ○を含む) について記載すること。

■点検結果調書 トンネル変状・異常箇所写真位置図

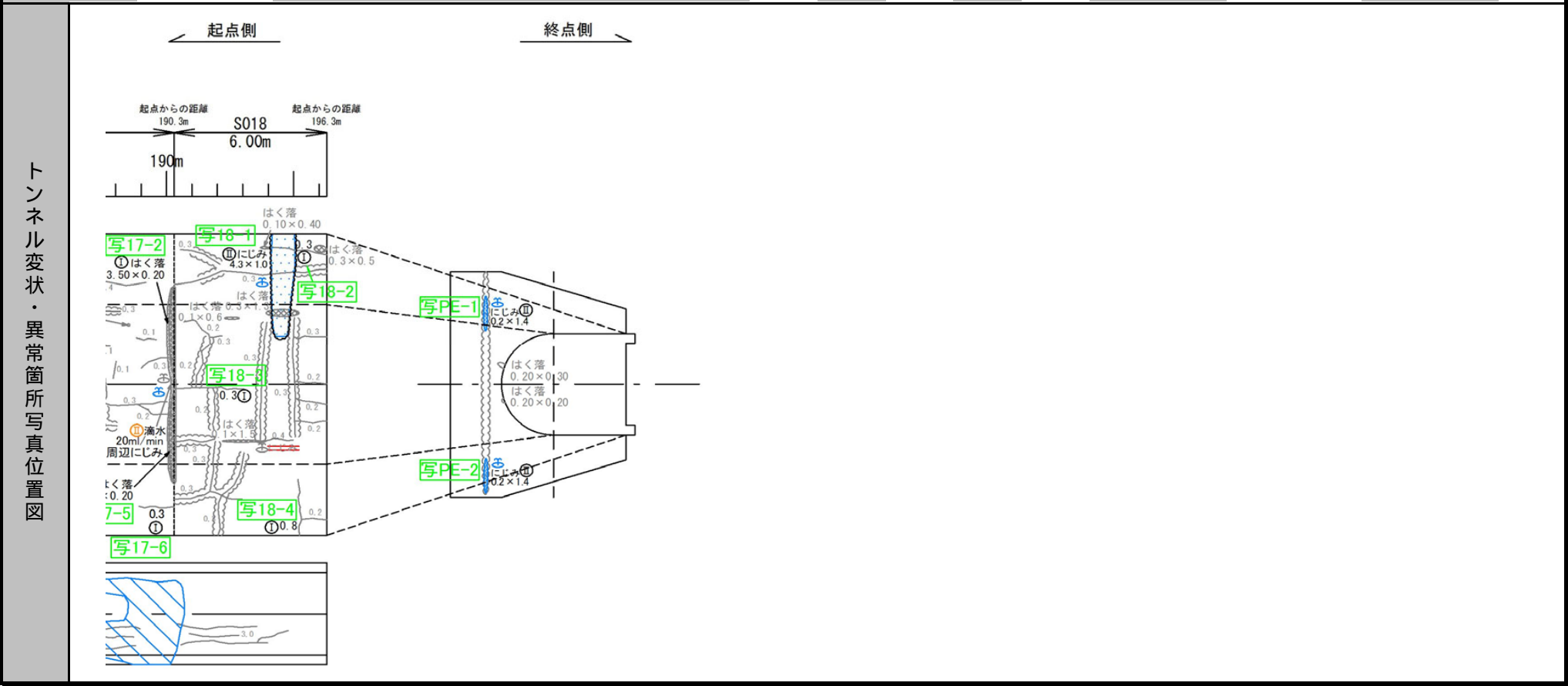
フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線			管理者名		七戸町		緊急輸送道路	なし			
												代替路の有無	なし			
所在地		自	青森県上北郡七戸町字銀南木	点検業者・点検者名		(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日		2018年9月18日		トンネル延長	L= 196.3 m			
		至	青森県上北郡七戸町字銀南木	調査業者・調査技術者名		-		調査年月日		-		トンネルの分類	陸上トンネル矢板工法			
起点	緯度	40°42'56.5"		変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体工	材質劣化		29 箇所		0 箇所		0 箇所	トンネル毎 の健全性		附属物の 取付状態	○ 0 箇所
	経度	141°03'30.9"							0 箇所		0 箇所					
終点	緯度	40°42'56.7"				漏水		32 箇所		0 箇所		0 箇所				
	経度	141°03'23.1"				外力		0 スパン		0 スパン		0 スパン				



- 1 トンネル本体工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。
- 2 本体工の変状に対しては、判定区分 ~ (対策実施後の を含む) について記載すること。
- 3 附属物の異常に対しては、判定区分×(対策実施後の を含む) について記載すること。

■点検結果調書 トンネル変状・異常箇所写真位置図

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線			管理者名			七戸町			緊急輸送道路	なし	
														代替路の有無	なし	
所在地		自	青森県上北郡七戸町字銀南木	点検業者・点検者名		(株)復建技術コンサルタント・山下 智士			点検年月日		2018年9月18日		トンネル延長	L= 196.3 m		
		至	青森県上北郡七戸町字銀南木	調査業者・調査技術者名		-			調査年月日		-		トンネルの分類	陸上トンネル矢板工法		
起点	緯度	40° 42 ' 56.5 "		変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体工	材質劣化		29 箇所		0 箇所		0 箇所	トンネル毎 の健全性		附属物の 取付状態	○
	経度	141° 03 ' 30.9 "				漏水		32 箇所		0 箇所		0 箇所				
終点	緯度	40° 42 ' 56.7 "				外力		0 スパン		0 スパン		0 スパン				0 箇所
	経度	141° 03 ' 23.1 "														



- 1 トンネル本体工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。
- 2 本体工の変状に対しては、判定区分 ~ (対策実施後の を含む) について記載すること。
- 3 附属物の異常に対しては、判定区分×(対策実施後の○を含む) について記載すること。

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線	点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日	
				管理者名	七戸町	調査業者・調査技術者名	-	調査年月日	-	
写真 番号	覆工 スパン 番号	PS			写真 番号	覆工 スパン 番号	S001			
	変状 番号	1				変状 番号	1			
変状 部位	対象 箇所	坑門			変状 部位	対象 箇所	覆工			
	部位 区分	坑門左側				部位 区分	アーチ			
変状区分		材質劣化			変状区分		材質劣化			
変状種類		ひび割れ			変状種類		目地材劣化			
健全性	点検・調査後				健全性	点検・調査後				
	措置後					措置後				
変状の発生範囲の規模		最大幅0.2mm			変状の発生範囲の規模		L×W=12.1m×0.05m			
前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.2mm			前回点検時の状態		劣化 ○ -			
調査(方針)		-		実施状況(実施日)	-		調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-		実施状況(実施日)	-		措置(方針)	-	実施状況(実施日)	-
メモ		坑門左側にひび割れ。対策区分の判定		メモ		アーチ部に目地材の劣化。対策区分の判定				
写真 番号	覆工 スパン 番号	S001			写真 番号	覆工 スパン 番号	S001			
	変状 番号	2				変状 番号	3			
変状 部位	対象 箇所	覆工			変状 部位	対象 箇所	覆工			
	部位 区分	左側壁				部位 区分	左アーチ			
変状区分		材質劣化			変状区分		材質劣化			
変状種類		ひび割れ			変状種類		ひび割れ			
健全性	点検・調査後				健全性	点検・調査後				
	措置後					措置後				
変状の発生範囲の規模		最大幅0.3mm			変状の発生範囲の規模		最大幅0.8mm			
前回点検時の状態					前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.8mm			
調査(方針)		-		実施状況(実施日)	-		調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-		実施状況(実施日)	-		措置(方針)	-	実施状況(実施日)	-
メモ		左側壁部に縦断方向ひび割れ。対策区分の判定		メモ		左アーチ部に縦断方向ひび割れ。対策区分の判定				

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
				管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

写真 番号	覆工 スパン 番号	S001		写真 番号	覆工 スパン 番号	S001		
	変状 番号	4			変状 番号	5		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	アーチ天端			部位 区分	アーチ天端		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		
変状種類		鉄筋の露出		変状種類		鉄筋の露出		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		L=0.1m		変状の発生範囲の規模		L=0.1m		
前回点検時の状態		鉄筋の露出 × L=0.1m		前回点検時の状態		鉄筋の露出 × L=0.1m		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		継続監視	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	継続監視	実施状況(実施日)	-
メモ		アーチ天端部に鉄筋露出。対策区分の判定 b。		メモ		アーチ天端部に鉄筋露出。対策区分の判定 b。		

写真 番号	覆工 スパン 番号	S002		写真 番号	覆工 スパン 番号	S002		
	変状 番号	1			変状 番号	2		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	左側壁			部位 区分	アーチ		
変状区分		漏水		変状区分		材質劣化		
変状種類		漏水(にじみ)		変状種類		目地材劣化		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		0.8m × 0.2m		変状の発生範囲の規模		L×W=12.1m × 0.05m		
前回点検時の状態				前回点検時の状態		劣化 ○ -		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		継続監視	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	-	実施状況(実施日)	-
メモ		左側壁部に漏水(にじみ)。対策区分の判定 b。		メモ		アーチ部に目地材の劣化。対策区分の判定 b。		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
				管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

写真 番号	覆工 スパン 番号	S002		写真 番号	覆工 スパン 番号	S002		写真 番号	覆工 スパン 番号	S002	
	変状 番号	3			変状 番号	4			変状 番号	4	
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工	
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	左側壁			部位 区分	左側壁	
変状区分		漏水		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化	
変状種類		漏水(にじみ)		変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ	
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後		
	措置後				措置後				措置後		
変状の発生範囲の規模		0.8m × 0.2m		変状の発生範囲の規模		最大幅0.5mm		変状の発生範囲の規模		最大幅0.5mm	
前回点検時の状態		漏水(にじみ)		前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.5mm		前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.5mm	
調査(方針)		-		調査(方針)		-		調査(方針)		-	
措置(方針)		継続監視		措置(方針)		-		措置(方針)		-	
メモ		左アーチ部に漏水(にじみ)。対策区分の判定 b。		メモ		左側壁部に縦横断方向ひび割れ。対策区分の判定 。		メモ		左側壁部に縦横断方向ひび割れ。対策区分の判定 。	

写真 番号	覆工 スパン 番号	S002		写真 番号	覆工 スパン 番号	S002		写真 番号	覆工 スパン 番号	S002	
	変状 番号	5			変状 番号	6			変状 番号	6	
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工	
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	アーチ天端			部位 区分	アーチ天端	
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化	
変状種類		ひび割れ		変状種類		濁音		変状種類		濁音	
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後		
	措置後				措置後				措置後		
変状の発生範囲の規模		最大幅0.9mm		変状の発生範囲の規模		L × W=1.6m × 0.2m		変状の発生範囲の規模		L × W=1.6m × 0.2m	
前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.9mm		前回点検時の状態		濁音 × L × W=1.6m × 0.2m		前回点検時の状態		濁音 × L × W=1.6m × 0.2m	
調査(方針)		-		調査(方針)		-		調査(方針)		-	
措置(方針)		-		措置(方針)		継続監視		措置(方針)		継続監視	
メモ		左アーチ部に縦横断方向ひび割れ。対策区分の判定 。		メモ		アーチ天端横断目地部に濁音。対策区分の判定 b。		メモ		アーチ天端横断目地部に濁音。対策区分の判定 b。	

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
				管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

写真 番号	覆工 スパン 番号	S002		写真 番号	覆工 スパン 番号	S002		
	変状 番号	7			変状 番号	8		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	アーチ天端			部位 区分	アーチ天端		
変状区分		漏水		変状区分		材質劣化		
変状種類		漏水(にじみ)		変状種類		濁音		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		0.5m × 0.1m		変状の発生範囲の規模		L × W=1.0m × 0.5m		
前回点検時の状態		漏水(流下) × -		前回点検時の状態		濁音 × L × W=1.0m × 0.5m		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		継続監視	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	継続監視	実施状況(実施日)	-
メモ		アーチ天端部に漏水(にじみ)。対策区分の判定 b。		メモ		アーチ天端部に濁音。対策区分の判定 b。		

写真 番号	覆工 スパン 番号	S002		写真 番号	覆工 スパン 番号	S002		
	変状 番号	9			変状 番号	10		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	アーチ天端			部位 区分	右側壁		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		
変状種類		豆板(ジャンカ)		変状種類		ひび割れ		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		L × W=0.05m × 0.3m		変状の発生範囲の規模		最大幅0.2mm		
前回点検時の状態		豆板(ジャンカ) × L × W=0.05m × 0.3m		前回点検時の状態				
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	-	実施状況(実施日)	-
メモ		アーチ天端部に豆板。大きな変化は認められない。対策区分の判定。		メモ		右側壁部に縦断方向ひび割れ。対策区分の判定。		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		サクタズイドウ		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
名称		作田隧道		管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

写真 番号	覆工 スパン 番号	S002		写真 番号	覆工 スパン 番号	S002		
	変状 番号	11			変状 番号	12		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	路面		
	部位 区分	右側壁			部位 区分	車道		
変状区分		漏水		変状区分		漏水		
変状種類		漏水(にじみ)		変状種類		滞水		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		1.0m × 0.1m		変状の発生範囲の規模		0.5m × 2.1m		
前回点検時の状態				前回点検時の状態				
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		継続監視		実施状況(実施日)	-	措置(方針)	継続監視	
メモ		右側壁部に目地部からの漏水(にじみ)。対策区分の判定 b。		メモ		路面に滞水。土砂堆積を含む。対策区分の判定 b。		

写真 番号	覆工 スパン 番号	S002		写真 番号	覆工 スパン 番号	S003		
	変状 番号	13			変状 番号	1		
変状 部位	対象 箇所	路面		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	車道			部位 区分	左アーチ		
変状区分		漏水		変状区分		漏水		
変状種類		滞水		変状種類		漏水(にじみ)		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		0.7m × 1.6m		変状の発生範囲の規模		3.2m × 0.8m		
前回点検時の状態				前回点検時の状態		漏水(にじみ) ○ -		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		継続監視		実施状況(実施日)	-	措置(方針)	継続監視	
メモ		路面に滞水。土砂堆積を含む。対策区分の判定 b。		メモ		左アーチ部に漏水(にじみ)。対策区分の判定 b。		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
				管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

写真 番号	覆工 スパン 番号	S003		写真 番号	覆工 スパン 番号	S003		
	変状 番号	2			変状 番号	3		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	左側壁			部位 区分	アーチ		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		
変状種類		ひび割れ		変状種類		目地材劣化		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		最大幅1.0mm		変状の発生範囲の規模		L×W=12.1m×0.05m		
前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅1.0mm		前回点検時の状態				
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		継続監視	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	-	実施状況(実施日)	-
メモ		左側壁部に横断方向ひび割れ。進行は認められないがひび割れ幅が若干大きい事から、対策区分の判定 b。		メモ		アーチ部に目地材の劣化。対策区分の判定 a。		

写真 番号	覆工 スパン 番号	S003		写真 番号	覆工 スパン 番号	S003		
	変状 番号	4			変状 番号	5		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	アーチ天端		
変状区分		漏水		変状区分		材質劣化		
変状種類		漏水(にじみ)		変状種類		濁音		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		1.0m×0.2m		変状の発生範囲の規模		L×W=2.4m×0.6m		
前回点検時の状態				前回点検時の状態		濁音 × L×W=2.4m×0.6m		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		継続監視	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	継続監視	実施状況(実施日)	-
メモ		左アーチ部に目地部からの漏水(にじみ)。対策区分の判定 b。		メモ		アーチ天端横断目地部に濁音。対策区分の判定 b。		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
				管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

写真 番号	覆工 スパン 番号	S003		写真 番号	覆工 スパン 番号	S003		
	変状 番号	6			変状 番号	7		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	アーチ天端			部位 区分	右アーチ		
変状区分		材質劣化		変状区分		漏水		
変状種類		はく落		変状種類		漏水(にじみ)		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		L×W=0.3m×0.3m		変状の発生範囲の規模		3.5m×0.1m		
前回点検時の状態		はく落 × L×W=0.3m×0.3m		前回点検時の状態		漏水(にじみ) ○ -		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	継続監視	実施状況(実施日)	-
メモ		アーチ天端部にはく落(木片混入)。対策区分の判定 a。		メモ		右アーチ部に漏水(にじみ)。対策区分の判定 b。		

写真 番号	覆工 スパン 番号	S003		写真 番号	覆工 スパン 番号	S003		
	変状 番号	8			変状 番号	9		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	アーチ天端			部位 区分	右アーチ		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		
変状種類		閉合ひび割れ		変状種類		ひび割れ		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		L×W=0.05m×0.05m		変状の発生範囲の規模		最大幅0.6mm		
前回点検時の状態		ひび割れ × L×W=0.05m×0.05m		前回点検時の状態		ひび割れ × 最大幅0.6mm		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		継続監視	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	-	実施状況(実施日)	-
メモ		アーチ天端部に閉合ひび割れ。周辺に打音異常なし。対策区分の判定 b。		メモ		右アーチ部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定 c。		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
				管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

写真 番号	覆工 スパン 番号	S003		写真 番号	覆工 スパン 番号	S003		
	変状 番号	10			変状 番号	11		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	路面		
	部位 区分	右側壁			部位 区分	車道		
変状区分		材質劣化		変状区分		漏水		
変状種類		ひび割れ		変状種類		滞水		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		最大幅2.0mm		変状の発生範囲の規模		0.9m × 2.0m		
前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅2.0mm		前回点検時の状態				
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		継続監視	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	継続監視	実施状況(実施日)	-
メモ		右側壁部に横断方向ひび割れ。進行は認められないがひび割れ幅が若干大きいことから、対策区分の判定 b。		メモ		路面に滞水。土砂堆積を含む。対策区分の判定 b。		

写真 番号	覆工 スパン 番号	S004		写真 番号	覆工 スパン 番号	S004		
	変状 番号	1			変状 番号	2		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	左側壁			部位 区分	左アーチ		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		
変状種類		ひび割れ		変状種類		漏水(にじみ)		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		最大幅0.8mm		変状の発生範囲の規模		0.7m × 0.1m		
前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.8mm		前回点検時の状態		漏水(にじみ) ○ -		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	継続監視	実施状況(実施日)	-
メモ		左側壁部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定 a。		メモ		左アーチ部に漏水(にじみ)。対策区分の判定 b。		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
				管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

写真 番号	覆工 スパン 番号	S004		写真 番号	覆工 スパン 番号	S004		
	変状 番号	3			変状 番号	4		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	アーチ			部位 区分	左アーチ		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		
変状種類		目地材劣化		変状種類		はく落		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		L×W=12.1m×0.05m		変状の発生範囲の規模		L×W=0.1m×0.1m		
前回点検時の状態				前回点検時の状態		うき × L×W=0.1m×0.1m		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	措置済	実施状況(実施日)	2018年9月18日
メモ		アーチ部に目地材の劣化。対策区分の判定。		メモ		左アーチ部のうきに対して、はつり落しを実施し から。次回点検時確認を行う事が望ましい。		

写真 番号	覆工 スパン 番号	S004		写真 番号	覆工 スパン 番号	S004		
	変状 番号	5			変状 番号	6		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	アーチ天端			部位 区分	右側壁		
変状区分		材質劣化		変状区分		漏水		
変状種類		ひび割れ		変状種類		漏水(にじみ)		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		最大幅0.5mm		変状の発生範囲の規模		1.8m×0.3m		
前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.5mm		前回点検時の状態		漏水(にじみ) ○ -		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	継続監視	実施状況(実施日)	-
メモ		アーチ天端部に縦断方向ひび割れ。対策区分の判定。		メモ		右側壁部に漏水(にじみ)。対策区分の判定 b。		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
				管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

写真 番号	覆工 スパン 番号	S004		写真 番号	覆工 スパン 番号	S004		
	変状 番号	7			変状 番号	8		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	路面		
	部位 区分	右側壁			部位 区分	車道		
変状区分		材質劣化		変状区分		漏水		
変状種類		ひび割れ		変状種類		滞水		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		最大幅0.7mm		変状の発生範囲の規模		0.8m × 2.3m		
前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.7mm		前回点検時の状態				
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	継続監視	実施状況(実施日)	-
メモ		右側壁部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定。		メモ		路面に滞水。土砂堆積を含む。対策区分の判定 b。		

写真 番号	覆工 スパン 番号	S005		写真 番号	覆工 スパン 番号	S005		
	変状 番号	1			変状 番号	2		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	左側壁		
変状区分		漏水		変状区分		材質劣化		
変状種類		漏水(にじみ)		変状種類		ひび割れ		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		2.7m × 0.5m		変状の発生範囲の規模		最大幅0.8mm		
前回点検時の状態				前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.8mm		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		継続監視	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	-	実施状況(実施日)	-
メモ		左アーチ部に漏水(にじみ)。遊離石灰を伴う。対策区分の判定 b。		メモ		左側壁部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定。		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
				管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

写真 番号	覆工 スパン 番号	S005		写真 番号	覆工 スパン 番号	S005		
	変状 番号	3			変状 番号	4		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	アーチ			部位 区分	アーチ天端		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		
変状種類		目地材劣化		変状種類		ひび割れ		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		L×W=12.1m×0.05m		変状の発生範囲の規模		最大幅0.8mm		
前回点検時の状態				前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.8mm		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	-	実施状況(実施日)	-
メモ		アーチ部に目地材の劣化。対策区分の判定。		メモ		アーチ天端部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定。		

写真 番号	覆工 スパン 番号	S005		写真 番号	覆工 スパン 番号	S005		
	変状 番号	5			変状 番号	6		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	右側壁		
変状区分		漏水		変状区分		材質劣化		
変状種類		漏水(にじみ)		変状種類		ひび割れ		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		5.4m×0.5m		変状の発生範囲の規模		最大幅0.8mm		
前回点検時の状態				前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.3mm		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		継続監視	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	-	実施状況(実施日)	-
メモ		右アーチ部に漏水(にじみ)。遊離石灰を伴う。対策区分の判定 b。		メモ		右側壁部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定。		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
				管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

写真 番号	覆工 スパン 番号	S005		写真 番号	覆工 スパン 番号	S005		
	変状 番号	7			変状 番号	8		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	右側壁			部位 区分	右側壁		
変状区分		材質劣化		変状区分		漏水		
変状種類		うき		変状種類		漏水(にじみ)		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		L×W=0.6m×1.0m		変状の発生範囲の規模		0.2m×0.1m		
前回点検時の状態		うき × L×W=0.6m×1.0m		前回点検時の状態		漏水(にじみ) ○ -		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		継続監視	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	継続監視	実施状況(実施日)	-
メモ		右側壁部にうき。側壁部であり落下の可能性は低い。対策区分の判定 b。		メモ		右側壁部に漏水(にじみ)。対策区分の判定 b。		

写真 番号	覆工 スパン 番号	S006		写真 番号	覆工 スパン 番号	S006		
	変状 番号	1			変状 番号	2		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	左側壁			部位 区分	アーチ		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		
変状種類		ひび割れ		変状種類		目地材劣化		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		最大幅0.9mm		変状の発生範囲の規模		L×W=12.1m×0.05m		
前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.9mm		前回点検時の状態				
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	-	実施状況(実施日)	-
メモ		左側壁部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定 。		メモ		アーチ部に目地材の劣化。対策区分の判定 。		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		サクタズイドウ		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
名称		作田隧道		管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

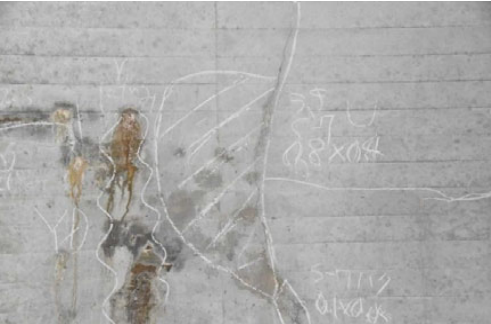
写真 番号	覆工 スパン 番号	S006		写真 番号	覆工 スパン 番号	S006		
	変状 番号	3			変状 番号	4		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	アーチ天端		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		
変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		最大幅0.2mm		変状の発生範囲の規模		最大幅1.0mm		
前回点検時の状態				前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅1.0mm		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	継続監視	実施状況(実施日)	-
メモ		左アーチ部に縦横断方向ひび割れ。対策区分の判定。		メモ		アーチ天端部に横断方向ひび割れ。進行は認められないがひび割れ幅が若干大きいことから、対策区分の判定。		

写真 番号	覆工 スパン 番号	S006		写真 番号	覆工 スパン 番号	S007		
	変状 番号	5			変状 番号	1		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	右側壁			部位 区分	左側壁		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		
変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		最大幅1.2mm		変状の発生範囲の規模		最大幅1.0mm		
前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅1.2mm		前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅1.0mm		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		継続監視	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	継続監視	実施状況(実施日)	-
メモ		右側壁部に横断方向ひび割れ。進行は認められないがひび割れ幅が若干大きいことから、対策区分の判定。		メモ		左側壁部に横断方向ひび割れ。進行は認められないがひび割れ幅が若干大きいことから、対策区分の判定。		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名 管理者名		作田防災ダム線 七戸町		点検業者・点検者名 調査業者・調査技術者名		(株)復建技術コンサルタント・山下 智士 -		点検年月日 調査年月日		2018年9月18日 -	
写真 番号	覆工 スパン 番号	S007				写真 番号	覆工 スパン 番号	S007							
	変状 番号	2					変状 番号	3							
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工									
	部位 区分	アーチ			部位 区分	左アーチ									
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化									
変状種類		目地材劣化		変状種類		うき									
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後										
	措置後				措置後										
変状の発生範囲の規模				L×W=12.1m×0.05m		変状の発生範囲の規模				L×W=0.8m×0.4m					
前回点検時の状態						前回点検時の状態				うき × L×W=0.8m×0.4m					
調査(方針)		-		実施状況(実施日)		-		調査(方針)		-		実施状況(実施日)		-	
措置(方針)		-		実施状況(実施日)		-		措置(方針)		重点監視・計画的対策		実施状況(実施日)		-	
メモ		アーチ部に目地材の劣化。対策区分の判定 a。													
写真 番号	覆工 スパン 番号	S007				写真 番号	覆工 スパン 番号	S007							
	変状 番号	4					変状 番号	5							
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工									
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	アーチ天端									
変状区分		漏水		変状区分		材質劣化									
変状種類		漏水(にじみ)		変状種類		ひび割れ									
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後										
	措置後				措置後										
変状の発生範囲の規模				0.2m×0.6m		変状の発生範囲の規模				最大幅1.0mm					
前回点検時の状態				漏水(にじみ) o -		前回点検時の状態				ひび割れ o 最大幅1.0mm					
調査(方針)		-		実施状況(実施日)		-		調査(方針)		-		実施状況(実施日)		-	
措置(方針)		継続監視		実施状況(実施日)		-		措置(方針)		継続監視		実施状況(実施日)		-	
メモ		左アーチ部に漏水(にじみ)。遊離石灰を伴う。対策区分の判定 b。													
メモ		アーチ天端部に横断方向ひび割れ。進行は認められないがひび割れ幅が若干大きいことから、対策区分の判定 b。													

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
				管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

写真 番号	覆工 スパン 番号	S007		写真 番号	覆工 スパン 番号	S007		
	変状 番号	6			変状 番号	7		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	右側壁		
変状区分		漏水		変状区分		材質劣化		
変状種類		漏水(にじみ)		変状種類		ひび割れ		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		0.2m × 0.5m		変状の発生範囲の規模		最大幅1.2mm		
前回点検時の状態		漏水(にじみ) ○ -		前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅1.2mm		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		継続監視	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	継続監視	実施状況(実施日)	-
メモ		右アーチ部に漏水(にじみ)。遊離石灰を伴う。対策区分の判定 b。		メモ		右側壁部に横断方向ひび割れ。進行は認められないがひび割れ幅が若干大きいことから、対策区分の判定 b。		

写真 番号	覆工 スパン 番号	S008		写真 番号	覆工 スパン 番号	S008		
	変状 番号	1			変状 番号	2		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	左側壁		
変状区分		漏水		変状区分		材質劣化		
変状種類		漏水(にじみ)		変状種類		ひび割れ		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		1.0m × 0.5m		変状の発生範囲の規模		最大幅0.3mm		
前回点検時の状態		漏水(にじみ) ○ -		前回点検時の状態				
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		継続監視	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	-	実施状況(実施日)	-
メモ		左アーチ部に漏水(にじみ)。遊離石灰を伴う。対策区分の判定 b。		メモ		左側壁部に縦断方向ひび割れ。対策区分の判定。		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
				管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

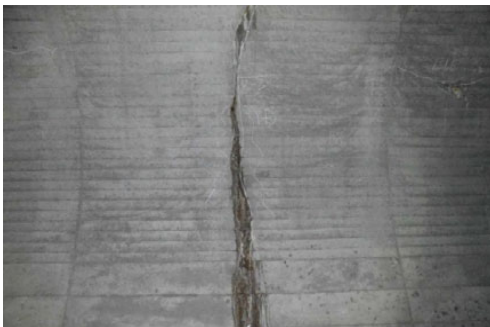
写真 番号	覆工 スパン 番号	S008		写真 番号	覆工 スパン 番号	S008		
	変状 番号	3			変状 番号	4		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	アーチ			部位 区分	左アーチ		
変状区分		材質劣化		変状区分		漏水		
変状種類		目地材劣化		変状種類		漏水(にじみ)		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		L×W=12.1m×0.05m		変状の発生範囲の規模		1.0m×0.1m		
前回点検時の状態				前回点検時の状態				
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	継続監視	実施状況(実施日)	-
メモ		アーチ部に目地材の劣化。対策区分の判定。		メモ		左アーチ部に目地部からの漏水(にじみ)。遊離石灰を伴う。対策区分の判定 b。		

写真 番号	覆工 スパン 番号	S008		写真 番号	覆工 スパン 番号	S008		
	変状 番号	5			変状 番号	6		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	アーチ天端		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		
変状種類		うき(補修部)		変状種類		ひび割れ		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		L×W=0.1m×0.3m		変状の発生範囲の規模		最大幅0.8mm		
前回点検時の状態		うき × L×W=0.1m×0.3m		前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.8mm		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		継続監視	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	-	実施状況(実施日)	-
メモ		左アーチ部にうき。アーチ部であるが、早期はく落の可能性は低い。対策区分の判定 b。		メモ		アーチ天端部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定。		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名 管理者名		作田防災ダム線 七戸町		点検業者・点検者名 調査業者・調査技術者名		(株)復建技術コンサルタント・山下 智士 -		点検年月日 調査年月日		2018年9月18日 -	
写真 番号	覆工 スパン 番号	S008				写真 番号	覆工 スパン 番号	S008							
	変状 番号	7					変状 番号	8							
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工					
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	右側壁			部位 区分	右側壁					
変状区分		漏水		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化					
変状種類		漏水(にじみ)		変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模		5.3m × 0.2m		変状の発生範囲の規模		最大幅0.8mm		変状の発生範囲の規模		最大幅0.8mm					
前回点検時の状態		漏水(にじみ) ○ -		前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.8mm		前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.8mm					
調査(方針)		-		調査(方針)		-		調査(方針)		-					
措置(方針)		継続監視		措置(方針)		-		措置(方針)		-					
メモ		右アーチ部に漏水(にじみ)。遊離石灰を伴う。対策区分の判定 b。		メモ		右側壁部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定 。		メモ		右側壁部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定 。					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S009				写真 番号	覆工 スパン 番号	S009							
	変状 番号	1					変状 番号	2							
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工					
	部位 区分	左側壁			部位 区分	アーチ天端			部位 区分	アーチ天端					
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化					
変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模		最大幅1.3mm		変状の発生範囲の規模		最大幅0.4mm		変状の発生範囲の規模		最大幅0.4mm					
前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅1.3mm		前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.4mm		前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.4mm					
調査(方針)		-		調査(方針)		-		調査(方針)		-					
措置(方針)		継続監視		措置(方針)		-		措置(方針)		-					
メモ		左側壁部に横断方向ひび割れ。進行は認められないがひび割れ幅が若干大きいことから、対策区分の判定 b。		メモ		アーチ天端部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定 。		メモ		アーチ天端部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定 。					

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
				管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

写真 番号	覆工 スパン 番号	S009		写真 番号	覆工 スパン 番号	S009		
	変状 番号	3			変状 番号	4		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	右側壁		
変状区分		漏水		変状区分		材質劣化		
変状種類		漏水(にじみ)		変状種類		ひび割れ		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		3.3m × 0.6m		変状の発生範囲の規模		最大幅0.6mm		
前回点検時の状態				前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.6mm		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		継続監視	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	-	実施状況(実施日)	-
メモ		左アーチ部に漏水(にじみ)。遊離石灰を伴う。対策区分の判定 b。		メモ		右側壁部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定 。		

写真 番号	覆工 スパン 番号	S009		写真 番号	覆工 スパン 番号	S010		
	変状 番号	5			変状 番号	1		
変状 部位	対象 箇所	路面		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	車道			部位 区分	左側壁		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		
変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		L × W=0.6m × 3.6m		変状の発生範囲の規模		最大幅0.6mm		
前回点検時の状態		ひび割れ ○ -		前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.6mm		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	-	実施状況(実施日)	-
メモ		路面に亀甲状ひび割れ。車両走行に問題なし。対策区分の判定 。		メモ		左側壁部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定 。		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
				管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

写真 番号	覆工 スパン 番号	S010		写真 番号	覆工 スパン 番号	S010	
	変状 番号	2			変状 番号	3	
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工	
	部位 区分	アーチ			部位 区分	左アーチ	
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化	
変状種類		目地材劣化		変状種類		うき	
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後		
	措置後				措置後		
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模			
L×W=12.1m×0.05m				L×W=0.7m×0.2m			
前回点検時の状態				前回点検時の状態			
調査(方針)		-		調査(方針)		-	
措置(方針)		-		措置(方針)		重点監視・計画的対策	
実施状況(実施日)		-		実施状況(実施日)		-	
実施状況(実施日)		-		実施状況(実施日)		-	
メモ		アーチ部に目地材の劣化。対策区分の判定 。		メモ		左アーチ部にひび割れ沿いのうき。重点的な監視を行い計画的に対策を要する。対策区分の判定 。	

写真 番号	覆工 スパン 番号	S010		写真 番号	覆工 スパン 番号	S010	
	変状 番号	4			変状 番号	5	
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工	
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	アーチ天端	
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化	
変状種類		うき		変状種類		ひび割れ	
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後		
	措置後				措置後		
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模			
L×W=0.6m×0.2m				最大幅0.3mm			
前回点検時の状態				前回点検時の状態			
うき × L×W=0.6m×0.2m				ひび割れ ○ 最大幅0.3mm			
調査(方針)		-		調査(方針)		-	
措置(方針)		重点監視・計画的対策		措置(方針)		-	
実施状況(実施日)		-		実施状況(実施日)		-	
実施状況(実施日)		-		実施状況(実施日)		-	
メモ		左アーチ部にうき(内部木片)。重点的な監視を行い計画的に対策を要する。対策区分の判定 。		メモ		アーチ天端部に縦断方向ひび割れ。対策区分の判定 。	

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
				管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

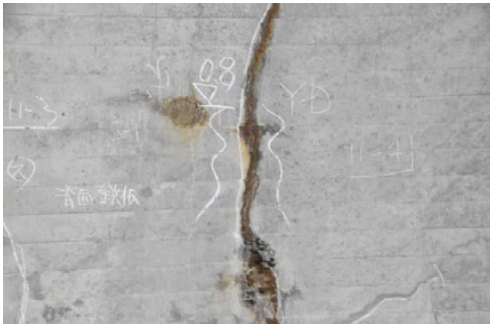
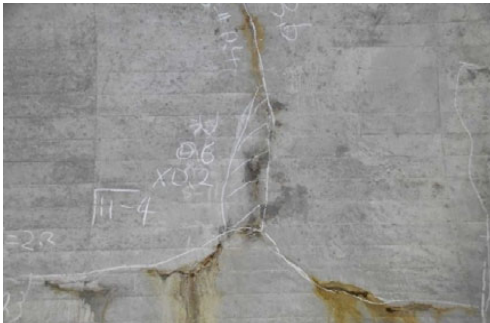
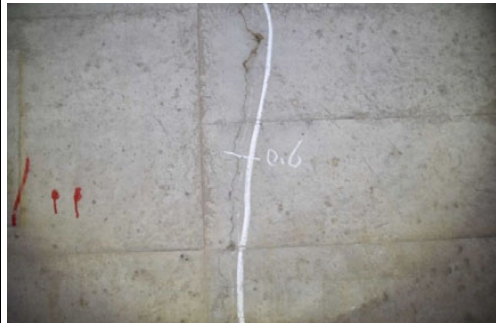
写真 番号	覆工 スパン 番号	S010		写真 番号	覆工 スパン 番号	S011		
	変状 番号	6			変状 番号	1		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	右側壁			部位 区分	左側壁		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		
変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		最大幅0.5mm		変状の発生範囲の規模		最大幅0.6mm		
前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.5mm		前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.6mm		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	-	実施状況(実施日)	-
メモ		右側壁部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定。		メモ		左側壁部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定。		

写真 番号	覆工 スパン 番号	S011		写真 番号	覆工 スパン 番号	S011		
	変状 番号	2			変状 番号	3		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	アーチ			部位 区分	左アーチ		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		
変状種類		目地材劣化		変状種類		鋼材露出		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		L×W=12.1m×0.05m		変状の発生範囲の規模		L×W=0.2m×0.1m		
前回点検時の状態				前回点検時の状態		うき × L×W=0.2m×0.1m		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	継続監視	実施状況(実施日)	-
メモ		アーチ部に目地材の劣化。対策区分の判定。		メモ		左アーチ部のうきに対して、叩き落としを実施後、内部に支保工が確認された。対策区分の判定 b。		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名 管理者名		作田防災ダム線 七戸町		点検業者・点検者名 調査業者・調査技術者名		(株)復建技術コンサルタント・山下 智士 -		点検年月日 調査年月日		2018年9月18日 -									
写真 番号	覆工 スパン 番号	S011				写真 番号	覆工 スパン 番号	S011															
	変状 番号	4					変状 番号	5															
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工													
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	アーチ天端			部位 区分	アーチ天端													
変状区分		漏水		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化													
変状種類		漏水(にじみ)		変状種類		うき(補修部)		変状種類		うき(補修部)													
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後														
	措置後				措置後				措置後														
変状の発生範囲の規模				3.0m × 0.2m		変状の発生範囲の規模				L × W=0.1m × 0.1m													
前回点検時の状態						前回点検時の状態				うき × L × W=0.1m × 0.1m													
調査(方針)				-		実施状況(実施日)		-		調査(方針)				-		実施状況(実施日)		-					
措置(方針)				継続監視		実施状況(実施日)		-		措置(方針)				継続監視		実施状況(実施日)		-					
メモ		左アーチ部に漏水(にじみ)。遊離石灰を伴う。対策区分の判定 b。										メモ		アーチ天端部にうき。アーチ部であるが、早期はく落の可能性は低い。対策区分の判定 b。									
写真 番号	覆工 スパン 番号	S011				写真 番号	覆工 スパン 番号	S011															
	変状 番号	6					変状 番号	7															
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工													
	部位 区分	アーチ天端			部位 区分	右側壁			部位 区分	右側壁													
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化													
変状種類		うき		変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ													
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後														
	措置後				措置後				措置後														
変状の発生範囲の規模				L × W=0.6m × 0.2m		変状の発生範囲の規模				最大幅0.6mm													
前回点検時の状態				うき × L × W=0.6m × 0.2m		前回点検時の状態				ひび割れ ○ 最大幅0.6mm													
調査(方針)				-		実施状況(実施日)		-		調査(方針)				-		実施状況(実施日)		-					
措置(方針)				重点監視・計画的対策		実施状況(実施日)		-		措置(方針)				-		実施状況(実施日)		-					
メモ		アーチ天端部にひび割れ沿いのうき。重点的な監視を行い計画的に対策を要する。対策区分の判定 a。										メモ		右側壁部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定 。									

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
				管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

写真 番号	覆工 スパン 番号	S012		写真 番号	覆工 スパン 番号	S012		
	変状 番号	1			変状 番号	2		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	左側壁			部位 区分	アーチ		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		
変状種類		ひび割れ		変状種類		目地材劣化		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		最大幅0.7mm		変状の発生範囲の規模		L×W=12.1m×0.05m		
前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.7mm		前回点検時の状態				
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	-	実施状況(実施日)	-
メモ		左側壁部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定。		メモ		アーチ部に目地材の劣化。対策区分の判定。		

写真 番号	覆工 スパン 番号	S012		写真 番号	覆工 スパン 番号	S012		
	変状 番号	3			変状 番号	4		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	左アーチ		
変状区分		材質劣化		変状区分		漏水		
変状種類		ひび割れ		変状種類		漏水(にじみ)		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		最大幅0.4mm		変状の発生範囲の規模		1.9m×0.2m		
前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.4mm		前回点検時の状態		漏水(にじみ) ○ -		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	継続監視	実施状況(実施日)	-
メモ		左アーチ部に縦断方向ひび割れ。対策区分の判定。		メモ		左アーチ部に漏水(にじみ)。遊離石灰を伴う。対策区分の判定 b。		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		サクタズイドウ		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
名称		作田隧道		管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

写真 番号	覆工 スパン 番号	S012		写真 番号	覆工 スパン 番号	S013		
	変状 番号	5			変状 番号	1		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	左側壁		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		
変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		最大幅1.5mm		変状の発生範囲の規模		最大幅0.8mm		
前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅1.5mm		前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.8mm		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		継続監視	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	-	実施状況(実施日)	-
メモ		右アーチ部に横断方向ひび割れ。進行は認められないがひび割れ幅が若干大きい事から、対策区分の判定 b。		メモ		左側壁部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定 。		

写真 番号	覆工 スパン 番号	S013		写真 番号	覆工 スパン 番号	S013		
	変状 番号	2			変状 番号	3		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	アーチ			部位 区分	左アーチ		
変状区分		材質劣化		変状区分		漏水		
変状種類		目地材劣化		変状種類		漏水(にじみ)		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		L×W=12.1m×0.05m		変状の発生範囲の規模		2.8m×0.2m		
前回点検時の状態				前回点検時の状態				
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	継続監視	実施状況(実施日)	-
メモ		アーチ部に目地材の劣化。対策区分の判定 。		メモ		左アーチ部に漏水(にじみ)。遊離石灰を伴う。対策区分の判定 b。		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		サクタズイドウ		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
名称		作田隧道		管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

写真 番号	覆工 スパン 番号	S013		写真 番号	覆工 スパン 番号	S013		
	変状 番号	4			変状 番号	5		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	右アーチ		
変状区分		材質劣化		変状区分		漏水		
変状種類		ひび割れ		変状種類		漏水(にじみ)		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		最大幅0.4mm		変状の発生範囲の規模		0.5m×0.1m		
前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.4mm		前回点検時の状態				
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	継続監視	実施状況(実施日)	-
メモ		右アーチ部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定。		メモ		右アーチ部に目地部からの漏水(にじみ)。対策区分の判定 b。		

写真 番号	覆工 スパン 番号	S013		写真 番号	覆工 スパン 番号	S014		
	変状 番号	6			変状 番号	1		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	右側壁			部位 区分	左側壁		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		
変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		最大幅0.5mm		変状の発生範囲の規模		最大幅0.8mm		
前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.5mm		前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.8mm		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	-	実施状況(実施日)	-
メモ		右側壁部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定。		メモ		左側壁部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定。		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
				管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

写真 番号	覆工 スパン 番号	S014		写真 番号	覆工 スパン 番号	S014		
	変状 番号	2			変状 番号	3		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	アーチ天端		
変状区分		漏水		変状区分		材質劣化		
変状種類		漏水(にじみ)		変状種類		閉合ひび割れ		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		0.6m × 0.3m		変状の発生範囲の規模		L × W=0.4m × 0.6m		
前回点検時の状態				前回点検時の状態		ひび割れ × L × W=0.4m × 0.6m		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		継続監視	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	継続監視	実施状況(実施日)	-
メモ		左アーチ部に漏水(にじみ)。遊離石灰を伴う。対策区分の判定 b。		メモ		アーチ天端部に閉合ひび割れ。周辺に打音異常なし。対策区分の判定 b。		

写真 番号	覆工 スパン 番号	S014		写真 番号	覆工 スパン 番号	S015		
	変状 番号	4			変状 番号	1		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	左側壁		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		
変状種類		閉合ひび割れ		変状種類		ひび割れ		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		L × W=0.3m × 0.6m		変状の発生範囲の規模		最大幅0.8mm		
前回点検時の状態				前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.8mm		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		継続監視	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	-	実施状況(実施日)	-
メモ		右アーチ部に閉合ひび割れ。周辺に打音異常なし。対策区分の判定 b。		メモ		左側壁部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定 。		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
				管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

写真 番号	覆工 スパン 番号	S015		写真 番号	覆工 スパン 番号	S015		
	変状 番号	2			変状 番号	3		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	アーチ			部位 区分	右アーチ		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		
変状種類		目地材劣化		変状種類		閉合ひび割れ		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		L×W=12.1m×0.05m		変状の発生範囲の規模		L×W=0.2m×0.2m		
前回点検時の状態				前回点検時の状態		ひび割れ × L×W=0.2m×0.2m		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	継続監視	実施状況(実施日)	-
メモ		アーチ部に目地材の劣化。対策区分の判定。		メモ		右アーチ部に閉合ひび割れ。周辺に打音異常なし。対策区分の判定 b。		

写真 番号	覆工 スパン 番号	S015		写真 番号	覆工 スパン 番号	S016		
	変状 番号	4			変状 番号	1		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	右側壁			部位 区分	左側壁		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		
変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		最大幅0.5mm		変状の発生範囲の規模		最大幅0.7mm		
前回点検時の状態		ひび割れ × 最大幅0.5mm		前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.7mm		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	-	実施状況(実施日)	-
メモ		右側壁部に縦横断方向ひび割れ。対策区分の判定。		メモ		左側壁部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定。		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		サクタズイドウ		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
名称		作田隧道		管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

写真 番号	覆工 スパン 番号	S016		写真 番号	覆工 スパン 番号	S016		
	変状 番号	2			変状 番号	3		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	左アーチ		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		
変状種類		ひび割れ		変状種類		うき(補修部)		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		最大幅0.8mm		変状の発生範囲の規模		L×W=0.1m×0.2m		
前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.8mm		前回点検時の状態		うき × L×W=0.1m×0.2m		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	継続監視	実施状況(実施日)	-
メモ		左アーチ部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定 a。		メモ		左アーチ部にうき。アーチ部であるが、早期は(落の可能性は低い。対策区分の判定 b。		

写真 番号	覆工 スパン 番号	S016		写真 番号	覆工 スパン 番号	S016		
	変状 番号	4			変状 番号	5		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	右側壁		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		
変状種類		うき(補修部)		変状種類		ひび割れ		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		L×W=0.2m×0.4m		変状の発生範囲の規模		最大幅1.3mm		
前回点検時の状態		うき × L×W=0.2m×0.4m		前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅1.3mm		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		継続監視	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	継続監視	実施状況(実施日)	-
メモ		右アーチ部にうき。アーチ部であるが、早期は(落の可能性は低い。対策区分の判定 b。		メモ		右側壁部に横断方向ひび割れ。進行は認められないがひび割れ幅が若干大きい事から、対策区分の判定 b。		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日	
				管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-	

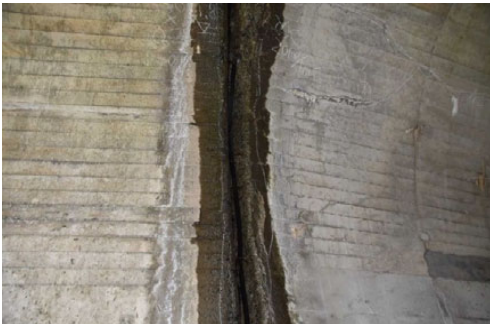
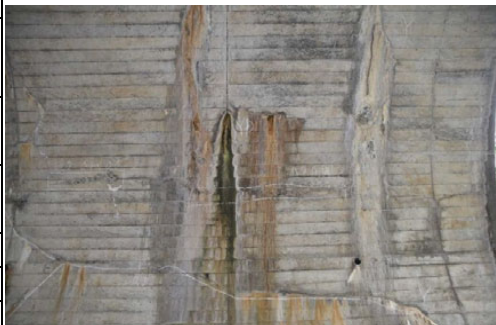
写真 番号	覆工 スパン 番号	S017		写真 番号	覆工 スパン 番号	S017		
	変状 番号	1			変状 番号	2		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	左側壁			部位 区分	左アーチ		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		
変状種類		ひび割れ		変状種類		はく落		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		最大幅0.4mm		変状の発生範囲の規模		L×W=3.5m×0.2m		
前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.4mm		前回点検時の状態		はく落 × L×W=3.5m×0.2m		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	-	実施状況(実施日)	-
メモ		左側壁部に縦断方向ひび割れ。対策区分の判定。		メモ		左アーチ横断目地部にはく落。大きな変化は認められない。対策区分の判定。		

写真 番号	覆工 スパン 番号	S017		写真 番号	覆工 スパン 番号	S017		
	変状 番号	3			変状 番号	4		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	部位 区分	アーチ天端			部位 区分	アーチ天端		
変状区分		材質劣化		変状区分		漏水		
変状種類		ひび割れ		変状種類		漏水(滴水)		
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		最大幅0.8mm		変状の発生範囲の規模		20ml/min		
前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.4mm		前回点検時の状態		漏水(滴水) × -		
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)	-	実施状況(実施日)	-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)	重点監視・計画的対策	実施状況(実施日)	-
メモ		アーチ天端部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定。		メモ		アーチ天端横断目地部に漏水(滴水)。重点的な監視を行い計画的に対策を要する。対策区分の判定。		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名 管理者名		作田防災ダム線 七戸町		点検業者・点検者名 調査業者・調査技術者名		(株)復建技術コンサルタント・山下 智士 -		点検年月日 調査年月日		2018年9月18日 -									
写真 番号	覆工 スパン 番号	S017										写真 番号	覆工 スパン 番号	S017									
	変状 番号	5											変状 部位	対象 箇所	覆工					部位 区分	右側壁		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状種類		はく落		変状種類		ひび割れ									
健全性	点検・調査後				健全性	点検・調査後				変状の発生範囲の規模		L×W=3.6m×0.2m		変状の発生範囲の規模		最大幅0.3mm							
	措置後					措置後				前回点検時の状態		はく落 × L×W=3.6m×0.2m		前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.3mm							
調査(方針)		-		実施状況(実施日)		-		調査(方針)		-		実施状況(実施日)		-		調査(方針)		-		実施状況(実施日)		-	
措置(方針)		-		実施状況(実施日)		-		措置(方針)		-		実施状況(実施日)		-		メモ		右アーチ横断目地部にはく落。大きな変化は認められない。対策区分の判定。					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S017										写真 番号	覆工 スパン 番号	S018									
	変状 番号	7											変状 部位	対象 箇所	路面					部位 区分	車道		
変状区分		漏水		変状区分		漏水		変状種類		滞水		変状種類		漏水(にじみ)									
健全性	点検・調査後				健全性	点検・調査後				変状の発生範囲の規模		13.8㎡		変状の発生範囲の規模		4.3m×1.0m							
	措置後					措置後				前回点検時の状態				前回点検時の状態									
調査(方針)		-		実施状況(実施日)		-		調査(方針)		-		実施状況(実施日)		-		調査(方針)		-		実施状況(実施日)		-	
措置(方針)		継続監視		実施状況(実施日)		-		措置(方針)		継続監視		実施状況(実施日)		-		メモ		路面に滞水。対策区分の判定 b。					
措置(方針)		継続監視		実施状況(実施日)		-		措置(方針)		継続監視		実施状況(実施日)		-		メモ		左アーチ部に漏水(にじみ)。遊離石灰を伴う。対策区分の判定 b。					

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		路線名	作田防災ダム線	点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
作田隧道		管理者名	七戸町	調査業者・調査技術者名	-	調査年月日	-
写真 番号	覆工 スパン 番号	S018		写真 番号	覆工 スパン 番号	S018	
	変状 番号	2			変状 番号	3	
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工	
	部位 区分	左側壁			部位 区分	アーチ天端	
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化	
変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ	
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後		
	措置後				措置後		
変状の発生範囲の規模		最大幅0.3mm		変状の発生範囲の規模		最大幅0.3mm	
前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.3mm		前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.3mm	
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)		-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)		-
メモ		左側壁部に縦断方向ひび割れ。対策区分の判定。		メモ		アーチ天端部に縦断方向ひび割れ。対策区分の判定。	
写真 番号	覆工 スパン 番号	S018		写真 番号	覆工 スパン 番号	PE	
	変状 番号	4			変状 番号	1	
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	坑門	
	部位 区分	右側壁			部位 区分	坑門左側	
変状区分		材質劣化		変状区分		漏水	
変状種類		ひび割れ		変状種類		漏水(にじみ)	
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後		
	措置後				措置後		
変状の発生範囲の規模		最大幅0.8mm		変状の発生範囲の規模		0.2m × 1.4m	
前回点検時の状態		ひび割れ ○ 最大幅0.8mm		前回点検時の状態		漏水(にじみ) ○	
調査(方針)		-	実施状況(実施日)	-	調査(方針)		-
措置(方針)		-	実施状況(実施日)	-	措置(方針)		継続監視
メモ		右側壁部に横断方向ひび割れ。対策区分の判定。		メモ		坑門左側に漏水(にじみ)。遊離石灰を伴う。対策区分の判定 b。	

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		サクタズイドウ 作田隧道		路線名	作田防災ダム線		点検業者・点検者名	(株)復建技術コンサルタント・山下 智士		点検年月日	2018年9月18日		
				管理者名	七戸町		調査業者・調査技術者名	-		調査年月日	-		
写真 番号	覆工 スパン 番号	PE		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所				
	変状 番号	2			変状 番号				部位 区分				
変状 部位	対象 箇所	坑門		変状 部位	対象 箇所			部位 区分					
	部位 区分	坑門右側			部位 区分								
変状区分		漏水		変状区分									
変状種類		漏水(にじみ)		変状種類									
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後								
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		0.2m × 1.4m		変状の発生範囲の規模									
前回点検時の状態		漏水(にじみ) ○		前回点検時の状態									
調査(方針)		-		調査(方針)				実施状況(実施日)					
措置(方針)		継続監視		措置(方針)				実施状況(実施日)					
メモ		坑門右側に漏水(にじみ)。遊離石灰を伴う。対策区分の判定 b。		メモ									
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所				
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			部位 区分					
	部位 区分				部位 区分								
変状区分				変状区分									
変状種類				変状種類									
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後								
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模									
前回点検時の状態				前回点検時の状態									
調査(方針)				調査(方針)				実施状況(実施日)					
措置(方針)				措置(方針)				実施状況(実施日)					
メモ				メモ									

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう